

あした、輝け！

〒273-0112
千葉県鎌ケ谷市東中沢 2-19-88
TEL/FAX 047-445-5260
<http://www.t-matsuzawa.net>
鎌ケ谷市議会議員 松沢たけひと

【活動報告】
発行 第43号
MT SOCIETY
EVERY ONE NEWS

170万枚以上の「あした、輝け！」で伝えたいこと

市政に関心を！

日本の借金は1000兆円を超えていると言われてい
ますが、この鎌ケ谷市においても約 455 億円という特
別会計を含めた市の借金が存在します。今後も少子
高齢化が進む中で、将来世代にのしかかる見えない
負担をいかに軽減していくのか、政治に参加できない
将来世代のためにも、1 人でも多くの市民と鎌ケ谷市
の未来を一緒に考えたいと思います。

どうか、政治をあきらめず、市政に関心をもち続けてく
ださい。

鎌ケ谷市議会議員選挙 投票率の推移

昭和58年	昭和62年	平成3年	平成7年	平成11年
74.86%	70.48%	65.04%	55.00%	55.25%
平成15年	平成19年	平成23年	平成27年	平成31年
48.86%	47.48%	45.15%	43.52%	?

松沢たけひとは税金の使い道や議会での議論の内
容・結果をわかりやすくお伝えすることをモットーに市
議会活動報告「あした、輝け！」の配布を定期的
に行い、3 期 12 年間の中で、通算 170 万枚以上の
活動報告を配布してきました。身近でわかりやすい
鎌ケ谷市政・市議会のため、また、市はどのようなビ
ジョンを持って運営しているのか、市政にもっと関心
を持っていただけるよう「あした、輝け！」を継続して
発行してまいります。

平成 27 年の市議会議員選挙 投票率 43.52%

人口約110,000人		
有権者約88,000人		未成年 (投票にいけな い人) 約22,000人
投票者 約38000人	放棄した人 (投票に行かなかった人) 約50,000人	

政策力

先見性をもって政策を構築する「政策力」が必
要です。鎌ケ谷市議会議員として、まもなく 12
年を迎えますが、将来にわたる鎌ケ谷市の政策
課題に取り組むため、明治大学公共政策大学院
に入学し、政策を学んでいます。

連携力

行政運営の効率化には「連携力」が必要です。
近隣市と共同で実施すべき事業や、産業や民間
団体と幅広く「連携」を図ることも重要です。
全国若手市議会議員の会で共に学んでいる仲
間とともに、地域の課題を解決する政策を学ん
でいます。

発信力

日頃の議員活動の見える化を図る「発信力」が
必要です。市政報告「あした、輝け！」発行の
他、さらに情報発信するため、ホームページや
ブログを活用しています。鎌ケ谷市政をわか
りやすく伝えます！

<http://www.t-matsuzawa.net/blog/>

親近感

議会・議員の活動が見えにくい状況が低投票率
を招く要因の一つとなっています。市内で開催
される各団体の催しや、地域のイベント等、あ
らゆる現場に赴き、話を伺っています。今後も
市政が身近に感じることが出来る活動を目指
します。

お金のかけないクリーンな活動を展開するため、サポーターを募集しています。

松沢たけひと みんなの会 事務所 千葉県鎌ケ谷市東中沢 2-19-88 TEL/FAX 047-445-5260

平成 31 年度 3 月 議会 一般質問 児童虐待防止根絶に向けた取り組みについて

Q 本市の児童虐待の現状について

A 新規虐待相談受付件数

H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
117件	124件	114件	133件	192件

Q こども総合相談室の相談体制について

A 現在の体制は、室長を含め6名体制で、そのうち専門職は保育士1名、保健師1名、社会福祉士2名であり、そのほか事務職2名で児童虐待に対応している。また、非常勤職員体制としては、児童虐待調査員1名を配置し、児童虐待に関する通告の安全確認等の対応、児童虐待に関する記録・情報の整理、管理、その他児童虐待防止に関する業務を行っている。

Q 児童虐待の通告があった場合の児童の安全確認について

A 虐待の通告を受けた際は、まずは、関係機関と連携し、子どもの所属機関へ訪問、家庭訪問を実施し、児童の安全確認を行う。また、併せて乳幼児健診等の受診状況の調査・情報収集などを行う。その後、緊急性を判断し支援の方法を決定し、一時保護や施設入所等の専門的な知識・技術が必要と判断したケースは、児童相談所へ送致を行い対応している。

Q 児童虐待を学校で認知した場合の対応について

A 身体的虐待についての確認は養護教諭、管理職等が迅速に行い市教委・こども総合相談室・市川児童相談所へ通告を行う。
心理的虐待やネグレクト等については、本人への

き取りとともに、関連機関との情報を交換し、状況を把握していく。また、虐待等の経過観察が必要な児童生徒の欠席状況や健康状態の適切な把握を行っている。

Q 児童相談所との連携について

A 児童相談所との連携は「鎌ヶ谷市児童虐待防止対策等地域協議会」の代表者会議を年1回、実務者会議を年4回開催するとともに、必要に応じて関係部署、関係機関との個別支援会議を開催して連携を図っている。また、個別ケースには、随時、児童相談所に援助依頼を行い、同行訪問や支援方法の助言を受けたり、電話等で進行管理の報告等も行い、連携した対応をしている。

松沢の視点

野田市の事件では、行政を含む各関係機関の不適切な対応により、小学4年の児童の命を救うことができませんでした。このような事件を二度と起こさないためには、鎌ヶ谷市では市川児童相談所、こども総合相談室、教育委員会、学校現場の連携が重要です。また、地域の「目」の役割も不可欠です。

虐待かと思った時などに児童相談所に通告・相談ができる相談窓口があります。



出典 厚生労働省 ※一部のIP電話はつながりません。
※通話料がかかります。

一般質問は持続可能な開発目標(SDGs)についてと所有者不明の土地・建物についてを質問しました。



松沢たけひと プロフィール

昭和 50 年 鎌ヶ谷市で誕生
みちる幼稚園 中部小学校
第四中学校卒業 白井高等学校
中央学院大学法学部卒業
平成 19 年 鎌ヶ谷市議会議員初当選
平成 28 年 明治大学公共政策大学院
ガバナンス研究科入学(在学中)

お問い合わせ・ご意見はこちらへ

WEB www.t-matsuzawa.net
事務所 東中沢 2-19-88
☎ ☎ 047-445-5260

詳しい政策については
ホームページをご覧ください。